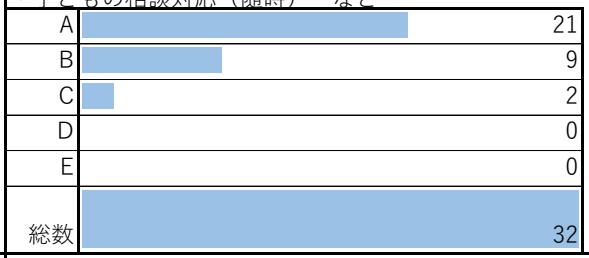
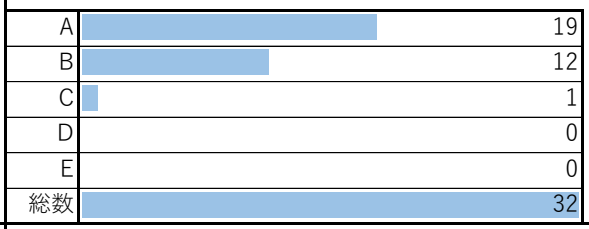
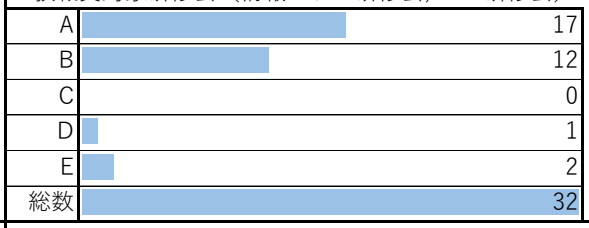
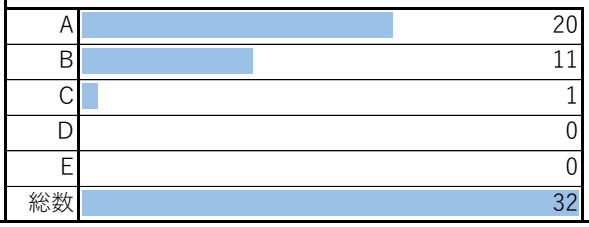
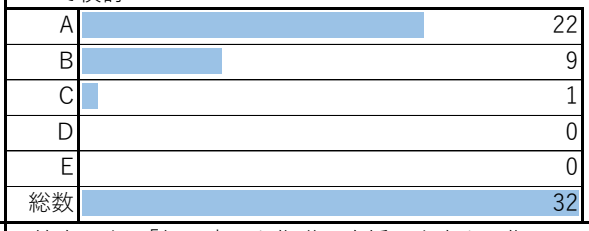
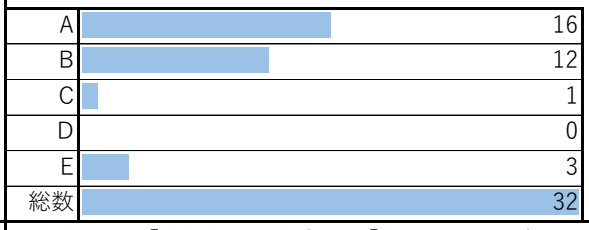
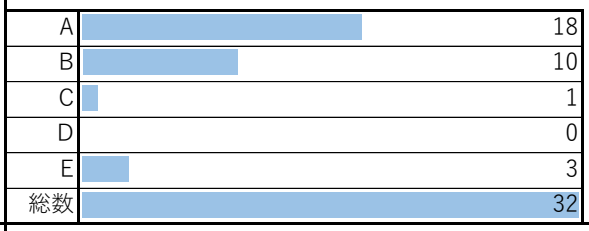
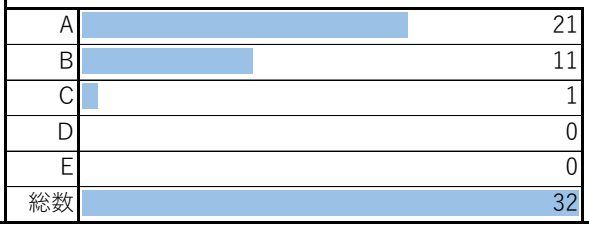
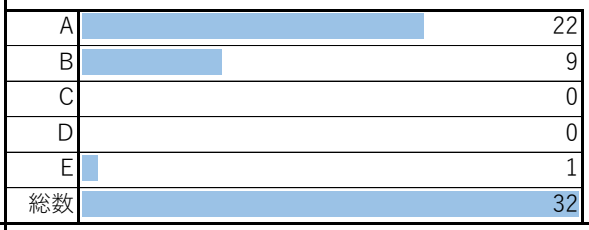
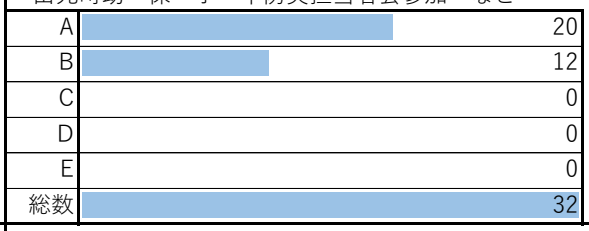
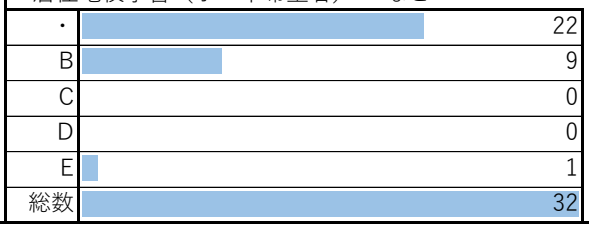
令和３年度 保護者アンケート結果

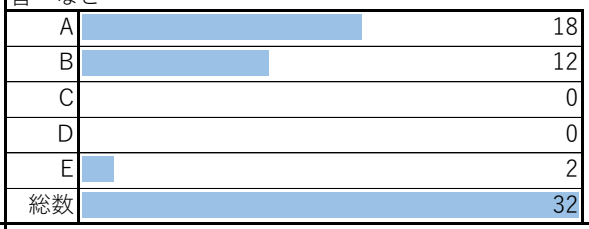
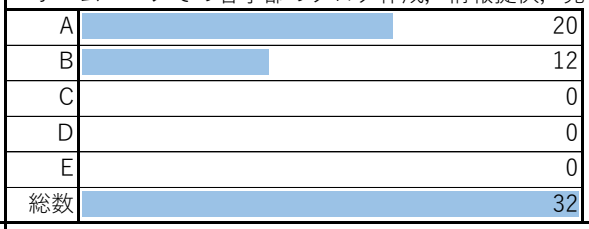
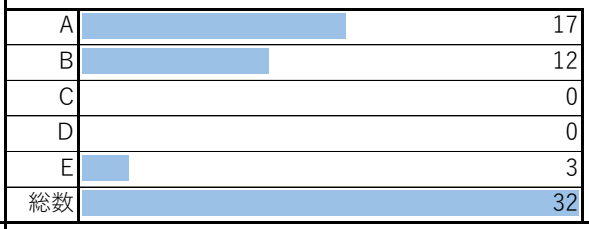
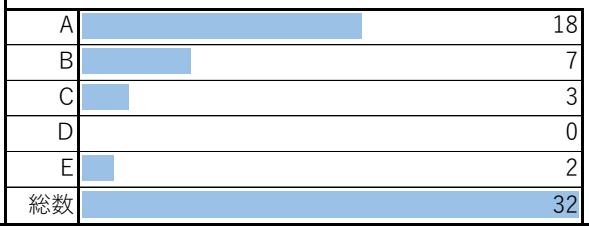
A:そう思う　B：おおむねそう思う　C：あまりそう思わない
D：そう思わない　E：わからない

重点目標等	番号	評価項目	取組状況と評価結果
学校運営全般	1	学校の教育目標及び教育方針，経営方針が分かりやすく説明されている。	・学校運営計画重点目標の配布　など A 16 B 15 C 0 D 0 E 1 総数 32
	2	学校は，いじめの予防や把握，適切な対応を行い，子どもが楽しく学校生活を送れるように努めている。	・いじめアンケートの実施（年２回）　など A 22 B 10 C 0 D 0 E 0 総数 32
	3	教員は，子どもたちを尊重した関わりを行い，指導に熱意と責任を持って取り組んでいる。	・いじめアンケートの実施（年2回）・養護教諭と連携した指導 ・コンプライアンスチェックの実施 ・あすなろ教室：指導に当たってのマニュアルや疾病発生時の教職員の対応について病院と共通理解　など A 20 B 12 C 0 D 0 E 総数 32
	4	授業参観や個別面談，ＰＴＡ活動など，学校に足を運ぶ回数や時期は適切である。	・授業参観：４月，7月。９月～１０月，２月 ・個別面談：５月，9月～１０，２月　・高等部進路面談：12月 ・ＰＴＡ活動：総会【書面審議】（４月），奉仕作業（９月）中止　など A 19 B 10 C 1 D 1 E 1 総数 32
	5	行事の時期，内容は適切である。	・小・中運動会６月５日，・やまりんウィーク２０２１（９月29日～10月１日） ・修学旅行（中：10月21～22日，小：10月２８～29日，高2,3：12月8～11日） ・宿泊学習（小：６月17～18日，中：7月１～２日，高１：12月8～11日）　など A 18 B 13 C 1 D 0 E 0 総数 32

<table>
<tr><td rowspan="5">Ⅰ　一人一人の教育的ニーズに応じた学習指導の充実</td><td>6</td><td>教員は(私)は，個別の教育支援計画や個別の指導計画を活用し子どもの様子や指導の内容・方法について保護者に伝え，共通理解を図るとともに保護者の相談に丁寧に応じ，解決に向けて取り組んでいる。</td><td>・個別の教育支援計画（小・中・高），個別の移行支援計画（高３）による教育的ニーズの把握
・個別の指導計画による指導内容の設定，情報の共有
・面談，学級懇談会，家庭訪問（小１，２，中１，高１）
・面談での話し合い
・連絡帳や通信表等での情報の共有
・スクールカウンセラーとのカウンセリングの設定　など
・支援会議等：家庭，担任，福祉サービス事業所，相談支援事業所，市町村役場福祉担当，児童相談所等
・子どもの相談対応（随時）　など
</td></tr>
<tr><td>7</td><td>小学部・中学部・高等部それぞれが連携しながら協働的な教育活動を行っている。</td><td>・やまりん集会（小・中・高の縦割りでの活動，あすなろ教室は動画視聴による間接交流）
・小学部と高等部，中学部と高等部との交流学習（農業）
・中学部，高等部合同のサークル活動
・教科領域部会で小・中・高の学習内容の系統性・連続性の検討　など
</td></tr>
<tr><td>8</td><td>学校はICTを積極的に活用し，子どもの学習意欲や興味関心の拡大，コミュニケーション能力の向上に努めている。</td><td>・iPadを用いた調べ学習，学習アプリの使用，写真や動画教材の提示
・プレゼンテーションソフトを活用した教材の提示
・インターネット回線によるテレビ電話でのオンライン授業（あすなろ教室）やオンライン交流
・教職員対象研修会（情報モラル研修会，ICT研修会）の実施　など
</td></tr>
<tr><td>9</td><td>学校は，適切に進路相談を行ったり進路に関する情報を伝えたりしている。</td><td>・小・中学部：高等部校内実習の見学，体験　　・中学部：工房地球村での職場体験
・高等部：職場実習・校内実習（６月，１１月）
・中学部・高等部：卒業生の話しを聞く会（１１月）
・「進路の手引き」配付　　・進路だよりの発行（年７回）
・「進路懇談会（小・中，高）」，「進路研修会（動画視聴）」の実施　　など
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>Ⅰ 一人一人の教育的ニーズに応じた学習指導の充実</td><td>10</td><td>学校は，子どもの特性（障害の状況，興味・関心など）に合わせて個に応じた指導，支援を行っている。</td><td>・個別の教育支援計画（小・中・高），個別の移行支援計画（高３）による教育的ニーズの把握
・個別の指導計画による指導内容の設定　・教職員対象児童生徒理解情報交換会の実施
・作業療法士とのケース会を通して子どもの適切な身体の動き姿勢保持などの指導について検討
</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Ⅱ 教員一人一人の指導力と専門性の向上</td><td>11</td><td>学校は，教職員同士の学び合いを通して，指導力の向上に努めている。</td><td>・校内研究：「個に応じた指導・支援の充実を目指して～少人数グループでの学び合いと事例研究を通して～」をテーマとし，少人数でのワークショップ，研究授業の実施
・動画編集，プレゼンテーション，作業学習等のスキルアップ研修を実施　など
</td></tr>
<tr><td>12</td><td>教員（私）は，研修を行い専門性の向上に努力している。</td><td>・校内研修：「実態把握研修会」，「学習評価研修会」，「やまよう教育講演会」，「情報モラル研修会」，「ＩＣＴ活用研修会」（3回），「給食指導研修会」等
・校外研修：総合教育センター，県特別支援教育課主催の特別支援教育関係研修会等県内外の特別支援学校主催の研修会等（リモート研修会含む）　など
</td></tr>
<tr><td>Ⅲ 信頼される安全・安心な学習環境の整備と防災教育の推進</td><td>13</td><td>学校は，子どもたちの健康状況を把握して，健康の保持増進に向けた指導を行っている。</td><td>・コロナ対応健康観察カードの配付・点検　・担任による健康観察，歯磨き指導
・健康診断，身体計測（月１回）　・養護教諭や栄養教諭による健康に関する指導の実施
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">III 信頼される安全・安心な学習環境の整備と防災教育の推進</td><td>14</td><td>学校は，子どもたちの安全に対する配慮及び対応を適切に行っている。</td><td>・コロナ対応の環境整備（手すり，ドアノブ，スイッチ等の毎日の消毒，マスクの励行，手指消毒，
給食時の座席の工夫等）
・教室，体育館備品，校舎等の安全点検（月１回）
・給食事故対応シミュレーションの実施（心肺蘇生法含む）（年２回）
・不審者侵入（想定）対応シミュレーションの実施　・交通安全教室
・通学指導（電車　年３回）　・スクールバス乗車指導（年３回）　など
</td></tr>
<tr><td>15</td><td>学校は，防災教育を適切に行い，保護者や地域と連携した防災・防犯訓練を行っている。</td><td>・避難訓練：６月火災，１１月地震・津波，引き渡し訓練（ひまわり教室），２月火災（ひまわり教室）
・高等部：防災学習（山元町防災拠点・山下地域交流センター見学，ハザードマップ作りなど）
・合戦原地区，真庭地区に回覧で避難訓練への参観呼びかけ
・職員防災研修会（亘理町・山元町のハザードマップの確認，防災マニュアルの確認等）
・山元町幼・保・小・中防災担当者会参加　など
</td></tr>
<tr><td>IV 地域と連携・協力した特色ある教育活動の推進</td><td>16</td><td>学校は，地域の小・中学校，高等学校との交流を積極的に行っている。</td><td>・小学部：坂元小学校オンライン交流会
・中学部：荒浜中学校交流（作業製品贈呈）
・高等部：亘理高校交流会（年２回）
・生徒会：角田支援学校生徒会とのオンライン交流
・居住地校学習（小・中希望者）　など
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">Ⅳ 地域と連携・協力した特色ある教育活動の推進</td><td>17</td><td>学校は，地域の人材等と連携・協力して体験的な学習を行っている。</td><td>・小学部：山田りんご園（山元町鷲足）でのりんご狩り体験，
・中学部：阿部りんご園（山元町真庭）でのりんごの栽培・収穫体験学習
・高等部：製品販売会（夢いちごの郷，山元町内のスーパー等），校外学習（磯浜漁港，ミガキイチゴ），洋菓子店依頼による皿の受注生産，苔テラリウムオンライン講習　など
</td></tr>
<tr><td>18</td><td>学校は，学校だよりや学級だより，ホームページなどを通して学校の様子を伝えている。</td><td>・「やまようだより」の配付（月１回），PTA会報「風」の発行（年１回）
・学級，学年，学部だよりの配付　　・地域支援部だより「はあとサポート」の配付
・ホームページでの各学部のブログ作成，情報提供，発信　など
</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Ⅴ 特別支援学校のセンター的機能の充実</td><td>19</td><td>学校は，地域の学校等の児童生徒，保護者，教員を対象とした教育相談や学習支援等を行っている。</td><td>・教育相談要請件数（４～10月実績）：訪問２０件，来校２１件，電話８件　計６７件【内訳：未就学４０件，小学校６件，中学校５件，保護者等４件，その他１２件】
・坂元小学校１～６年生対象「障害者理解教育」への講師派遣
</td></tr>
<tr><td>20</td><td>学校は，地域の学校や保護者を対象とした研修会を行っている。</td><td>・研修会の企画・開催　：「やまよう教育講演会」中止，進路研修会（HPで視聴）
・研修会講師派遣・紹介：「亘理郡教育研究会特別支援部会」中止，
亘理・山元地区特別支援教育連絡会，支援員研修会
保育所，小学校職員向け，特別支援学級保護者向け研修会
仙南地区高等学校特別支援教育研修会　など
</td></tr>
</table>